

教科	工業	科目	製図	単位数	2単位	学年	2学年
学科	電気科	コース		教科書	電気製図（実教出版）		
副教材							
学習目標	製図に関する日本工業規格及び電気技術の分野の製図について、基礎的な知識と技術を習得する。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	1 製図の基本 (1) 製図と規格 (2) 製図用道具・材料 (3) 線と文字 (4) 平面図形 (5) 投影図	・製図に関する規格や製図用器具・線・文字、さらに平面図形などについて理解している。 ・製図の基礎である線・文字の種類を学び、書き方を習得するとともに、投影法と投影図の種類について学び、平面図、正面図、側面図（第三角法）の書き方、考え方について理解している。	◎	○	○	・基礎の部分なので、しっかり復習しながら授業を進める。
	5 月						
	6 月	2 製作図 (1) 線の用法 (2) 図形の表し方 (3) 尺度と寸法記入	・物品を製作するときに用いられ、設計者の意図を十分に理解している。 ・製品の形状を図示し、寸法記入の方法や読み方を理解している。	◎	○	○	
2 学 期	7 月						
	8 月	3 電気用図記号 (1) 図記号 (2) 文字・記号・数値の記入	・電気用図記号の種類や書き方が身に付いている。特にJIS C 0617-1～13の電気用図記号は、電気回路や電子回路で図示する場合に用いるため、正しい書き方を習得している。	◎	○	○	・実習でも使用する回路の中に図記号が出てくるため、正しく読み、図記号を書く力を養う。
	9 月						
	10 月	4 電気設備 (1) 屋内配線 (2) 自家用変電設備 (3) 再生可能エネルギーによる発電設備	・全体的な系統を示す配線図や接続図が多いため、正しい読み方を理解している。 ・屋内配線図、自家用変電設備、再生可能エネルギーによる発電設備について正しく理解し、書ける力を身に付けている。	◎	○	○	
	11 月						
3 学 期	12 月						
	1 月	5 CAD製図 (1) CADシステム (2) CADシステムに関する規格 (3) CADシステムによる製図	・CADによる製図の仕方を理解している。 ・二次元・三次元CADについて、それぞれに異なる機能と設計手順があり、設計の方法や操作方法を身に付けている	◎	○	○	
	2 月						
	3 月						

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	学期末考查や製図課題の完成度、出席状況や授業への取り組み・態度、服装等も加味した総合評価
------	--